

—— 大規模ユーザ向けシンクライアントシステム ——

SKYDIP

Desktop Client

スカイディップ デスクトップ クライアント

Ver.5.2

医療機関向けカタログ



院内ネットワークで 安全にインターネットを ご利用いただくために

医療情報連携ネットワークの普及・推進や、オンライン診療の恒常化に向けた動きなど、医療におけるIT利用はより身近なものになってきています。

実際の医療現場でも、医師が紹介状を作成する際に紹介先の病院の情報を調べるときや、医薬品情報を検索する場合などにインターネットを活用する機会も多くなっています。しかし、電子カルテやPACSなどで患者様の機微な医療情報を取り扱うことの多いHIS系ネットワーク上のPCは、外部からのサイバー攻撃や院内からの情報漏洩などのリスクを高めることになるため、直接インターネットに接続できません。

シンクライアントシステム「SKYDIV Desktop Client」は、院内のネットワーク分離環境において診察室で普段お使いのPCから「便利」かつ「安全」にインターネットを利用いただけるようサポート。開発・サポートすべてを国内で提供することで、お客様に安心してご利用いただける商品を目指しています。



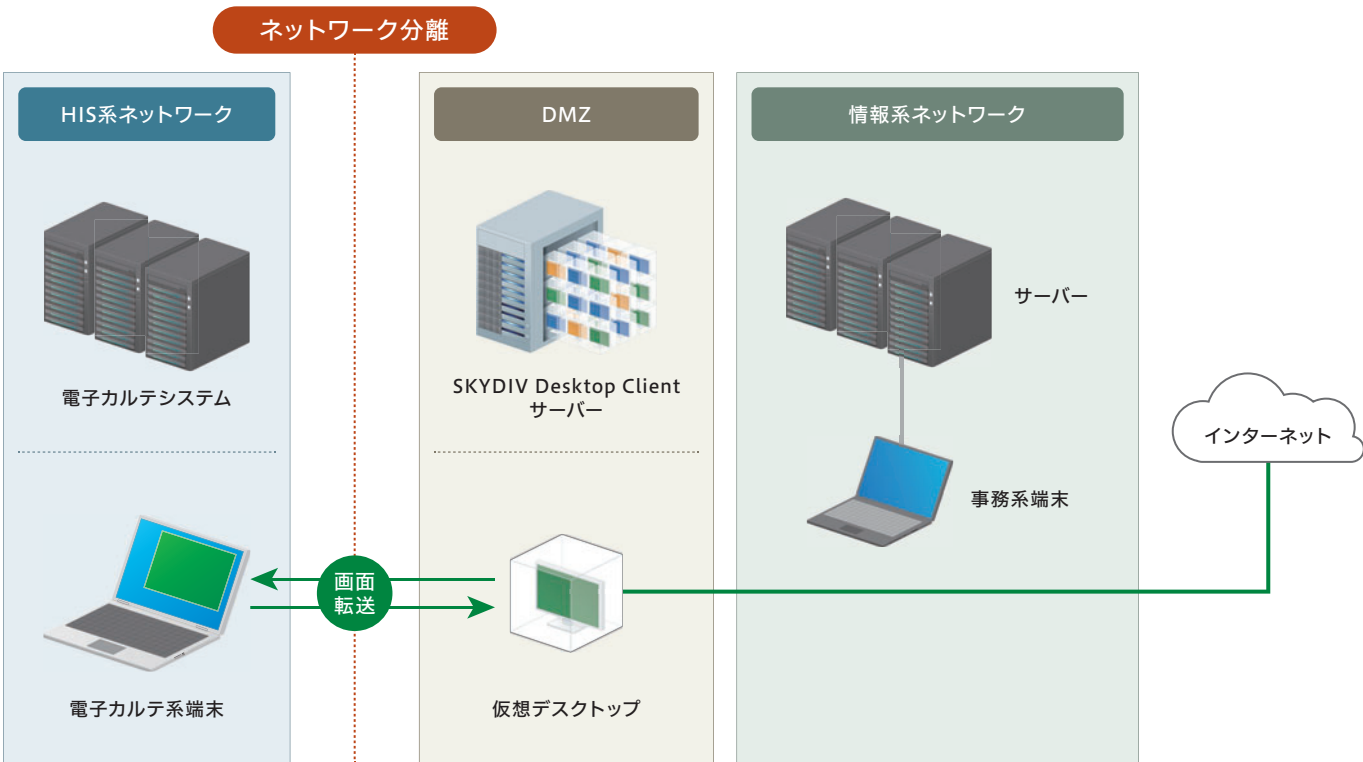
電子カルテなど
機微な情報を扱う操作は
物理端末で



紹介状の作成時や
医療辞典の閲覧など
必要な情報収集は
仮想端末で

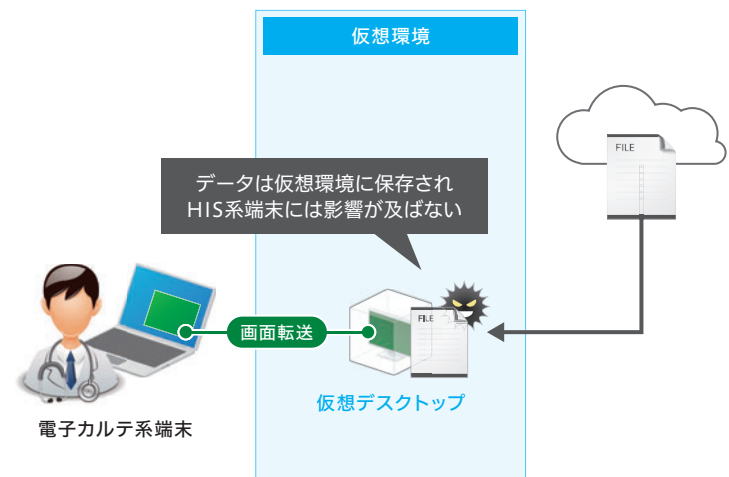
シンククライアントの活用で情報漏洩リスクを軽減

電子カルテなどの医療情報を利用するHIS系ネットワークと、インターネットが利用可能な情報系ネットワークが分離された病院の環境で、HIS系端末から仮想環境を活用してインターネットに接続。外部からの不正アクセスやマルウェア感染リスクを抑止しながら、普段お使いのPCでローカル環境と同様にインターネットを利用いただけます。



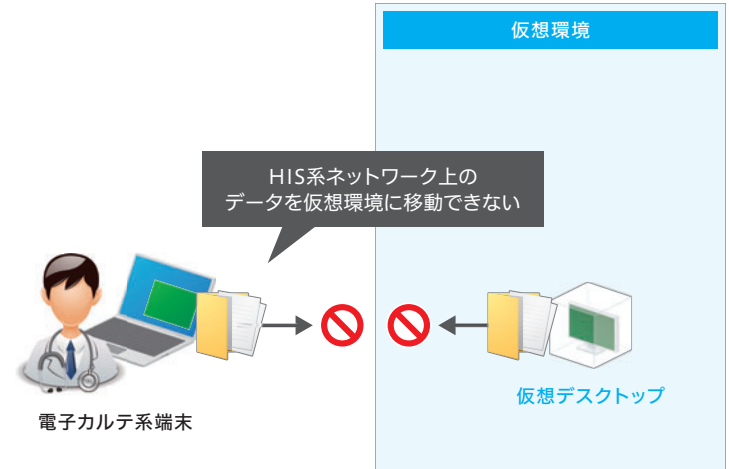
ダウンロードしたデータからのマルウェア感染を防ぐ

インターネット利用時にWebサイトなどからダウンロードしたデータは、仮想環境に保存されるため、HIS系ネットワーク上のPCに直接保存されることはありません。マルウェアを含むデータを意図せずダウンロードしてしまった場合にも、感染リスクを防ぐことができます。



ローカル環境とのデータ共有を禁止して情報漏洩を防ぐ

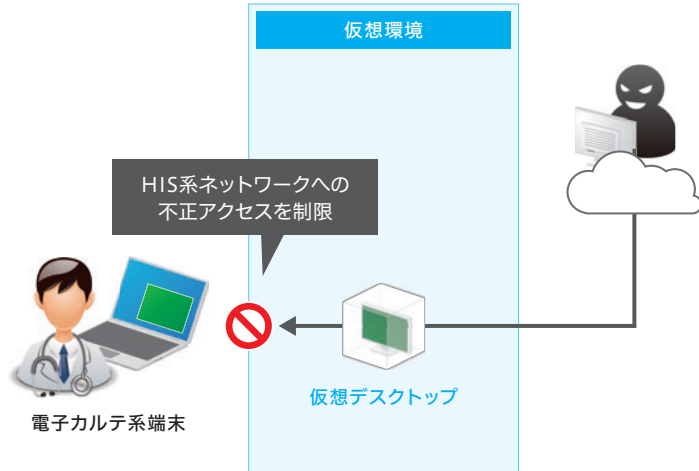
インターネットを利用している仮想環境と、ローカル環境間のデータ移動やクリップボード共有を制限することができます^{※1}。HIS系ネットワーク上のデータを誤って仮想環境に移動してしまうなど、情報漏洩リスクを伴う操作を防止できます。



シンククライアントが「安全」な理由

ネットワーク分離で外部からの不正アクセスを防ぐ

HIS系ネットワーク上のPCは、直接情報系ネットワークと接続することがないため、外部からの不正アクセスを受けることはありません。万が一、仮想環境上でサイバー攻撃を受けた場合でも、電子カルテなどの機微な情報に攻撃者はアクセスできないため、情報漏洩リスクを軽減することができます。



いつもと同じ環境でインターネットが利用できる

普段インターネットを使うときと同じ感覚で、今お使いのPC上で仮想環境を起動してインターネットが利用できます。仮想環境を起動した後の操作感も、いつもお使いのローカル環境（物理環境）と同様のため、新しい操作方法などを覚える必要はありません。

医療関連の特殊な日本語入力システムを導入している場合でも、事前に仮想環境にインストールしておくことで、これまでどおりお使いいただけます。

普段どおりの感覚で操作することができる

仮想デスクトップから画面のみを転送

電子カルテ系端末

※1 SKYDIV Desktop Clientでは、業務上必要な場合にクリップボードの共有を許可する設定も可能です。

SKYDIV Desktop Client の特長 1

はじめてでもすぐに起動して使える、 利用者の使いやすさを追求

起動の流れ

1

ランチャーアイコンを
ダブルクリック

2

ユーザー名、パスワードを
入力してログイン

3

仮想端末
(アプリケーション) が起動

複数の仮想環境の 使い分けも簡単に

利用者が使う仮想環境が複数ある場合には、ランチャー画面を表示して選択できます。ショートカットを作成して、デスクトップから直接起動することも可能です。



POINT

業務をスムーズに始められるように、仮想環境にリモート接続した際に、よく使うアプリケーションを起動しておくことも可能です^{※1}。



仮想環境の利用時に
起動するアプリケーション

マーカー表示で ローカル環境と区別しやすい

仮想環境のウィンドウをマーカー表示することで、利用者がローカル環境のアプリケーションと区別しやすいように設定できます。また、マーカーの色や大きさなどを変更できます。^{※2※3}



POINT

仮想環境でも、Microsoft EdgeやGoogle Chromeなどの普段使い慣れたWebブラウザでインターネットが利用できます。

POINT

複数のユーザーが、共有のアカウントを使ってそれぞれのPCからログインした場合でも、PCごとに個別の仮想環境を割り当てることができます。

PCへのログインは職員共通のアカウントを使用し、電子カルテは個別アカウントを使用するような院内環境などでご活用いただけます。

※1 SBC(RDS)方式をお使いの場合にご利用いただけます。※2 SBC(RDS)方式でアプリケーションを使用している場合のみ、マーカー表示されます。また、マーカー表示は任意でON / OFFが可能です。※3 複数のネットワークで個別に仮想環境を構築している場合でも、ネットワークごとにウィンドウの色を使い分けることで、判別がしやすくなります。

SKYDIV Desktop Client の特長 2

基盤は使い慣れた Windows Server / Hyper-V

仮想化基盤には、日本の多くの組織で運用されている
マイクロソフト社のWindows Serverに搭載された「Microsoft Hyper-V」を利用。
これまで使い慣れたMicrosoft製品の環境でシステムを動作させることができるため、
スムーズに運用を開始していただけます。

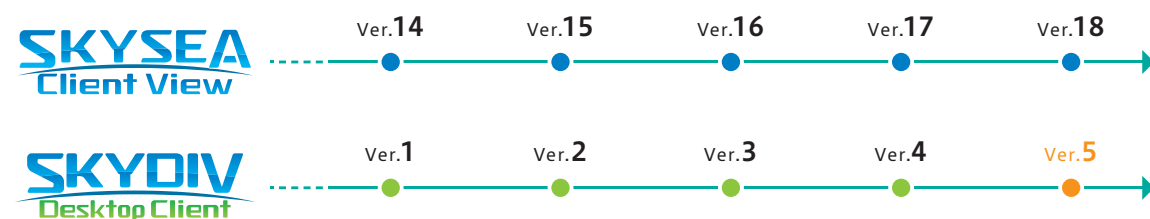
SKYDIV Desktop Client の特長 3

開発からサポートまで 国内・日本語で対応

SKYDIV Desktop Clientは、Sky株式会社が国内で開発・販売。
サポートサービスもすべて国内で提供し、
技術資料やマニュアルも日本語で制作しているため、安心してご利用いただけます。

Sky株式会社では常に進化を目指して 製品の定期的なバージョンアップを行っています

お客様に常に最新のIT環境で安心してご利用いただくために、SKYDIV Desktop Clientを含む弊社製品では、定期的なバージョンアップを通して機能追加や改善を行っています。



SKYDIV Desktop Client 機能のご紹介

Ver.5 ～ 5.2 新機能

さまざまな運用環境で、 より便利に使いやすく

お客様によりご利用いただきやすい商品を目指し、新バージョンでは、
Linuxのサーバー上で動作する「仮想ブラウザ方式」やファイル無害
化連携機能を強化しました。

Linux®のサーバー上で動作する
仮想ブラウザ方式の利用がさらに便利に

ファイル無害化連携機能が
Mac / Linux®端末にも対応

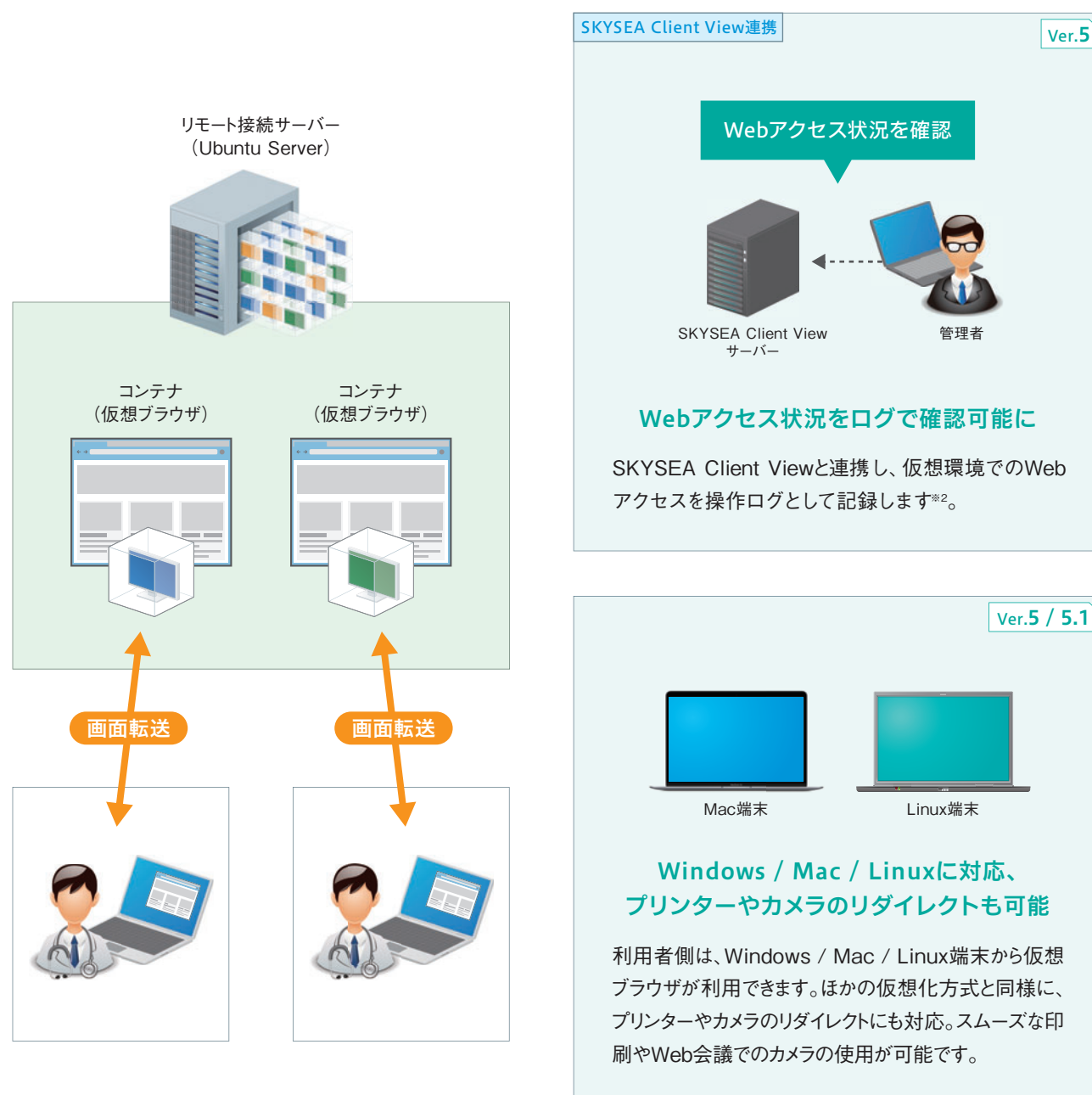


SKYDIV Desktop Client 新機能

対応機能を
続々追加！

Linux®のサーバー上で動作する 仮想ブラウザ方式の利用がさらに便利に

Linuxのサーバー上で動作するWebブラウザの画面を各PCに転送することで、RDS CAL※1が不要で、導入コストを抑えたシンクライアント環境を実現する「仮想ブラウザ方式」。新バージョンでは、プリンターのリダイレクトやクリップボード共有の制限設定が可能になったほか、SKYSEA Client Viewと連携してWebアクセス状況をログで記録できるようにするなど、さらに便利な機能へと進化しました。



※1 Windows Server Remote Desktop Services CAL ※2 SKYSEA Client Viewのライセンスが別途必要です。

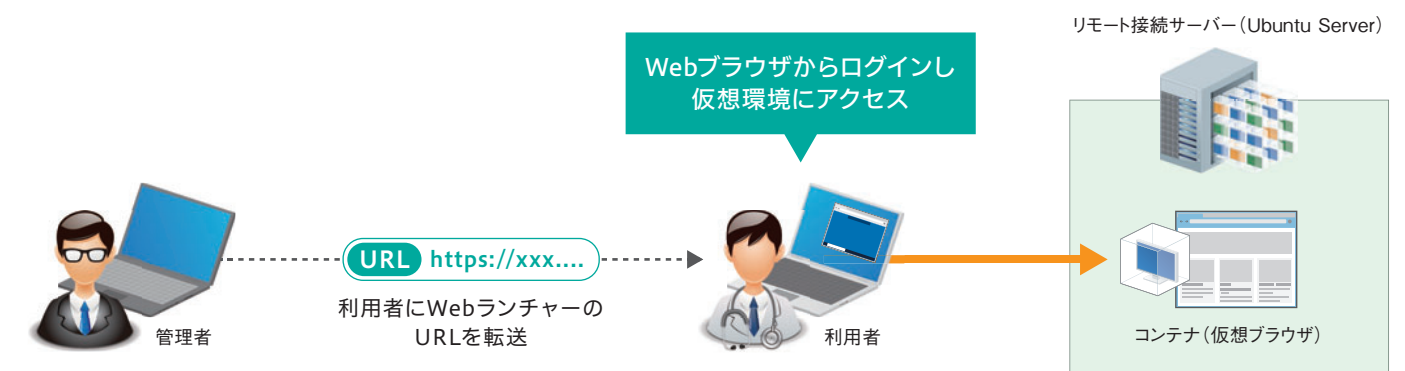
クリップボード共有の制限設定が可能に Ver.5

仮想環境とローカル環境間でのクリップボード共有をテキストのみに制限できます。



Webブラウザから仮想環境にすぐアクセス Ver.5

エージェントレスで仮想環境を利用できるWebランチャー機能に対応しました。



その他新機能 Ver.5.1

- 高解像度のPCでも、表示スケール設定を調整することで画面表示を見やすく快適に
- 閲覧しているWebサイトのタイトルを仮想ブラウザに反映可能に※3
- 仮想ブラウザ用ルート証明書・中間証明書の自動配布が可能に
- 事前に登録した共有フォルダは自動でマウントして利用可能に

※3 SKYSEA Client Viewとの連携機能としてご提供しています。仮想ブラウザ方式でアプリケーションを使用している場合に設定できます。利用者側の端末は、Windowsのみ対応しています。

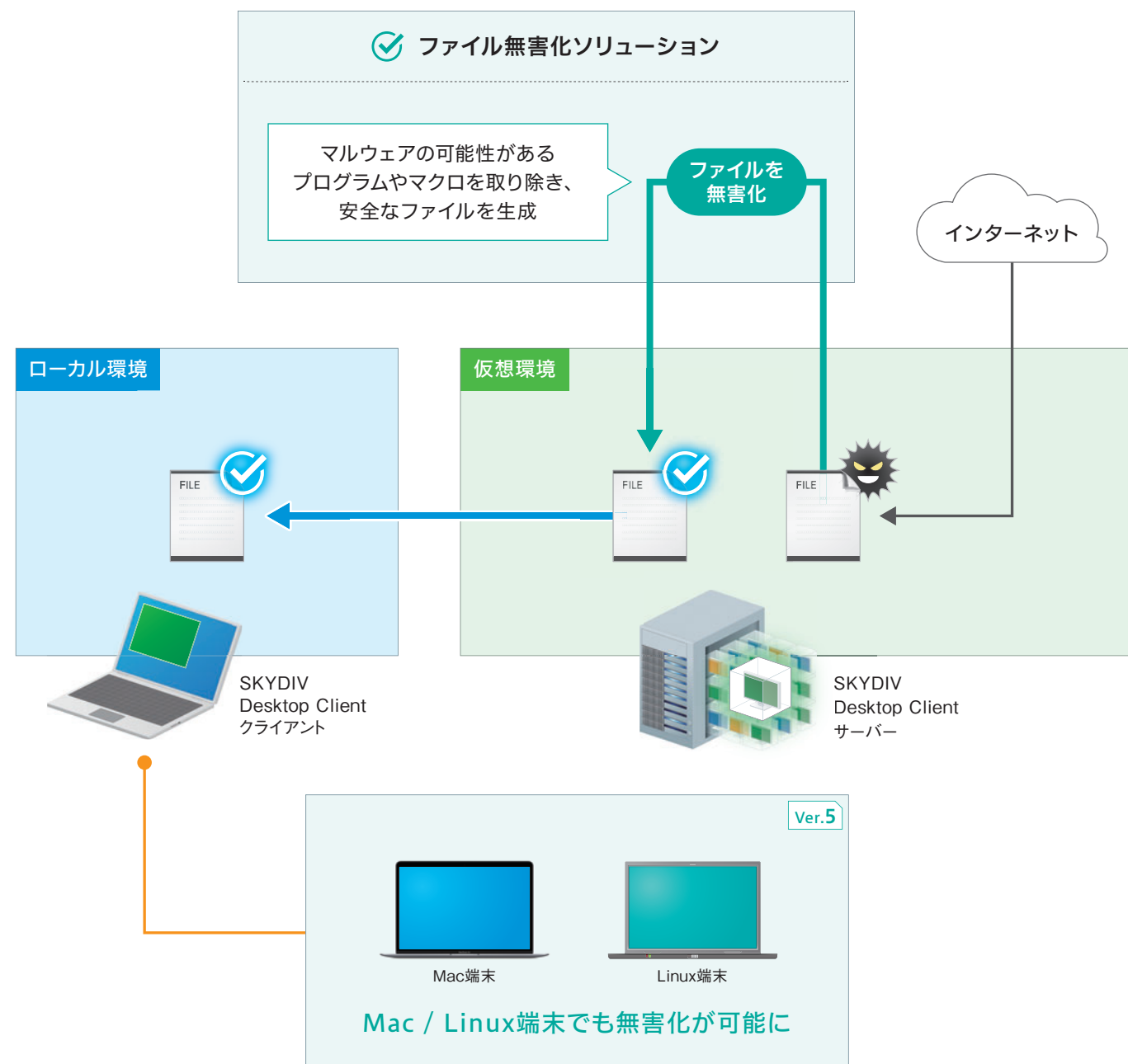
SKYDIV Desktop Client 新機能

対応OSが
さらに充実！

ファイル無害化連携機能が
Mac / Linux®端末にも対応※1

オプション

他社のファイル無害化ソリューションと連携し、仮想環境の利用中にWebサイトなどでダウンロードしたファイルが無害化※2。マルウェアの可能性のあるプログラムやマクロなどを取り除いて安全なファイルを作成し、ローカル環境に転送することができます。新バージョンでは、これまでのWindows端末に加えて、Mac / Linux端末でも無害化が可能になりました。



※1 本機能はオプションです。※2 連携する各メーカー様の製品については、Webサイト (<https://www.skydiv.jp/limit/>) をご覧ください。

仮想化方式

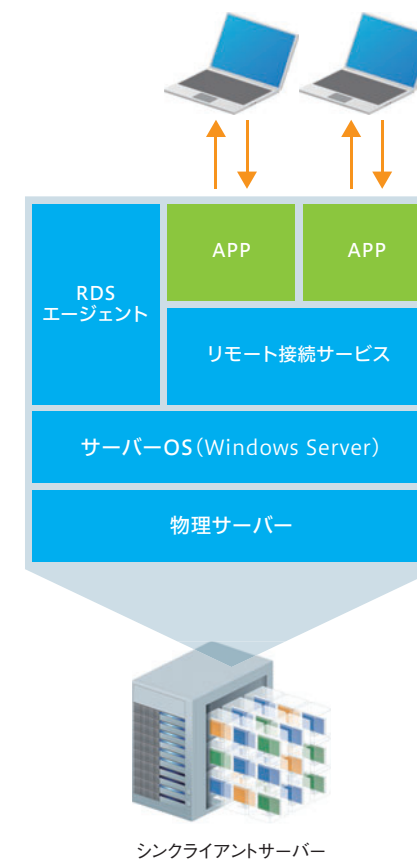
お客様の運用環境に合わせて、さまざまな仮想方式をご用意

SKYDIV Desktop Clientでは、「SBC (RDS) 方式」「VDI方式」「仮想ブラウザ方式」の3つの仮想方式をご用意。お客様の仮想環境の用途に合わせて、それぞれを組み合わせご利用いただけます。また、クラウド環境でのご利用も可能です。

SBC (RDS) 方式

Server Based Computing

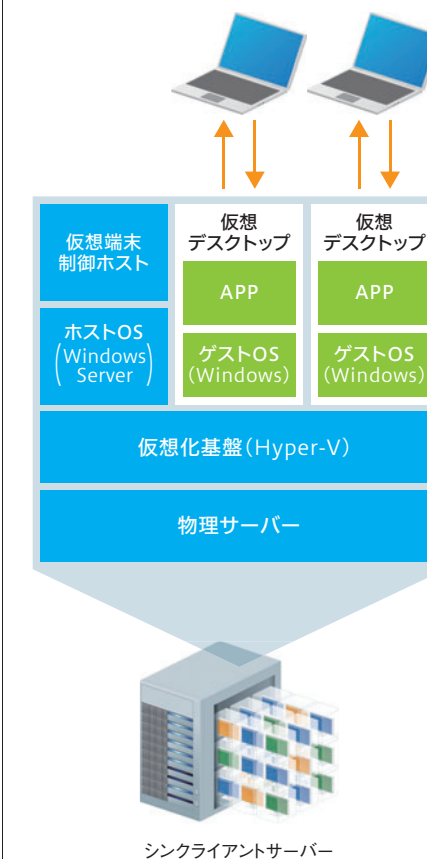
SBC (RDS) 方式は、サーバーOS上で動作するアプリケーションを各端末で共有することになるため、VDI方式に比べて使用できるソフトウェアは限られますが、サーバーのCPUやメモリ、ストレージの利用効率が高く、コスト削減が期待できます。限られたソフトウェアのみ使用する環境に適した方式です。



VDI 方式

Virtual Desktop Infrastructure

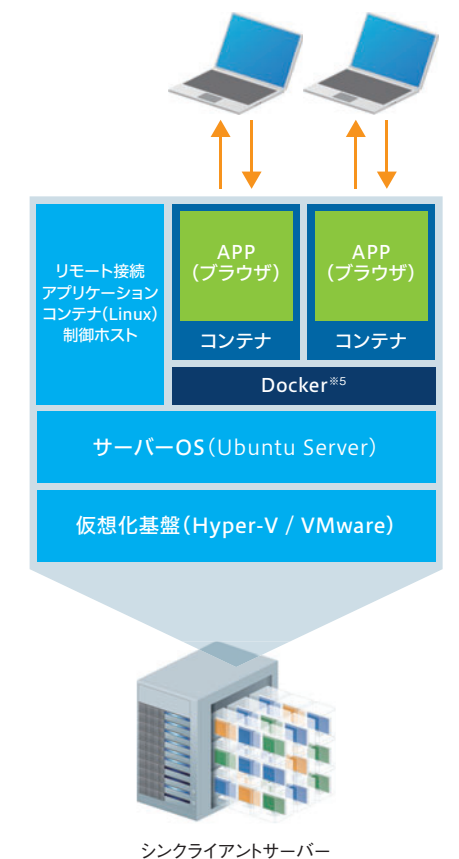
VDI方式では、サーバー上に作成された個々の仮想端末でアプリケーションを利用するため、物理端末とほぼ同じ自由度の高い実行環境で多くのソフトウェアを使用することができます。WindowsなどのクライアントPCで利用するソフトウェアや、病院向けの特許ソフトウェアの多くが使用可能です。



仮想ブラウザ方式

(Linux)

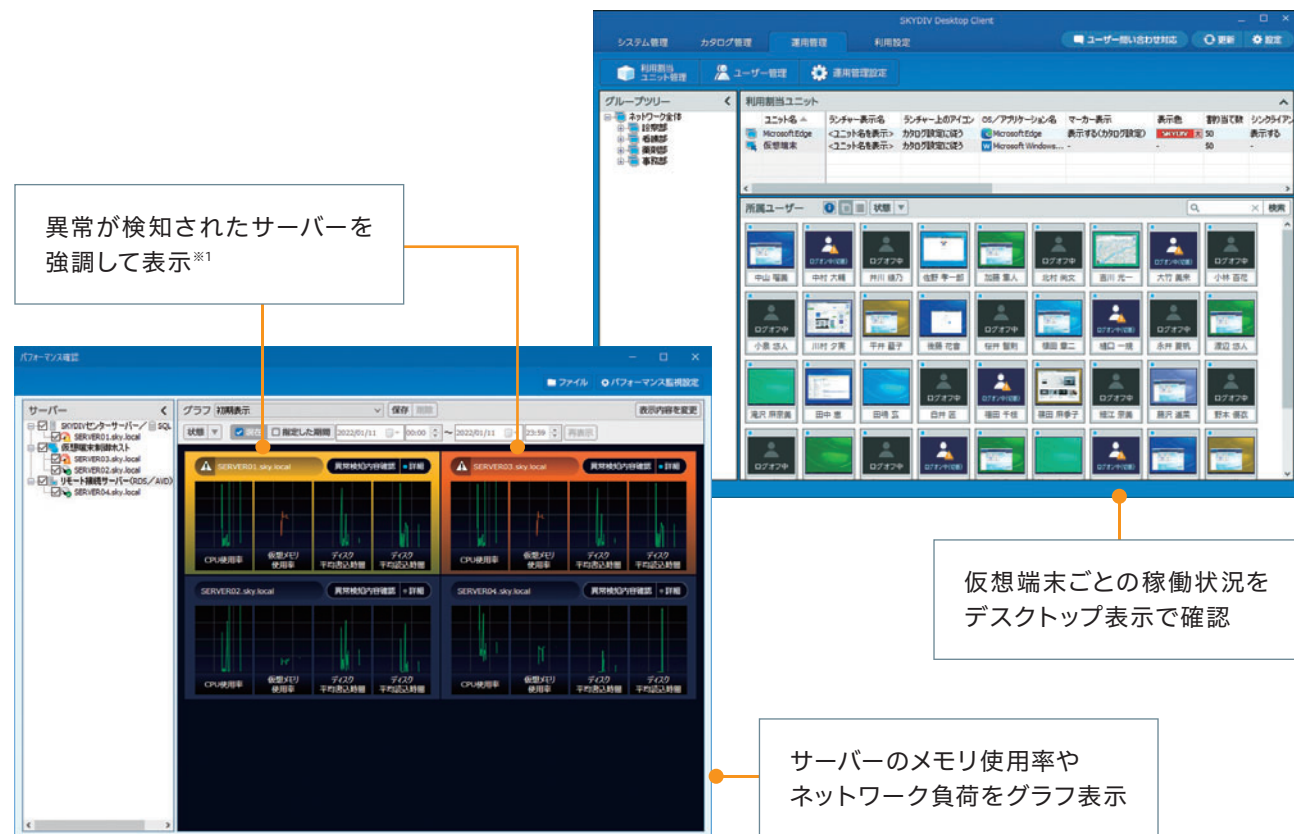
Linuxのサーバー上で動作するWebブラウザ※3の画面のみを物理端末に転送し、操作する方式です。RDS CAL※4が不要なため、SBC (RDS) 方式に比べてさらにコスト削減が期待できます。ご利用時には、Windowsの標準フォントやプラグインなどの互換性について注意が必要です。



※3 利用可能なWebブラウザについては、Webサイト (https://www.skydiv.jp/limit/v5_2.html) をご覧ください。※4 Windows Server Remote Desktop Services CAL ※5 SKYDIV Desktop Clientでは、条件により有償となるDocker Desktopではなく、Docker Community Editionを使用しているため、無償にてご利用いただけます。

管理者による仮想端末の割り当て、利用状況の把握を支援

部署やユーザーへの仮想端末の割り当てや、端末ごとのログオン状況の確認がしやすい管理画面を用意。また、運用に必要な各種サーバーの負荷状況もグラフで視覚的に把握いただけます。



POINT

ポリシー設定で、仮想環境利用時のセキュリティを強化

仮想環境を利用中のUSBメモリやプリンターの使用、ローカル環境とのデータ共有など、セキュリティリスクを伴う各種操作を制限※2。安全に仮想環境をお使いいただけるよう支援します。

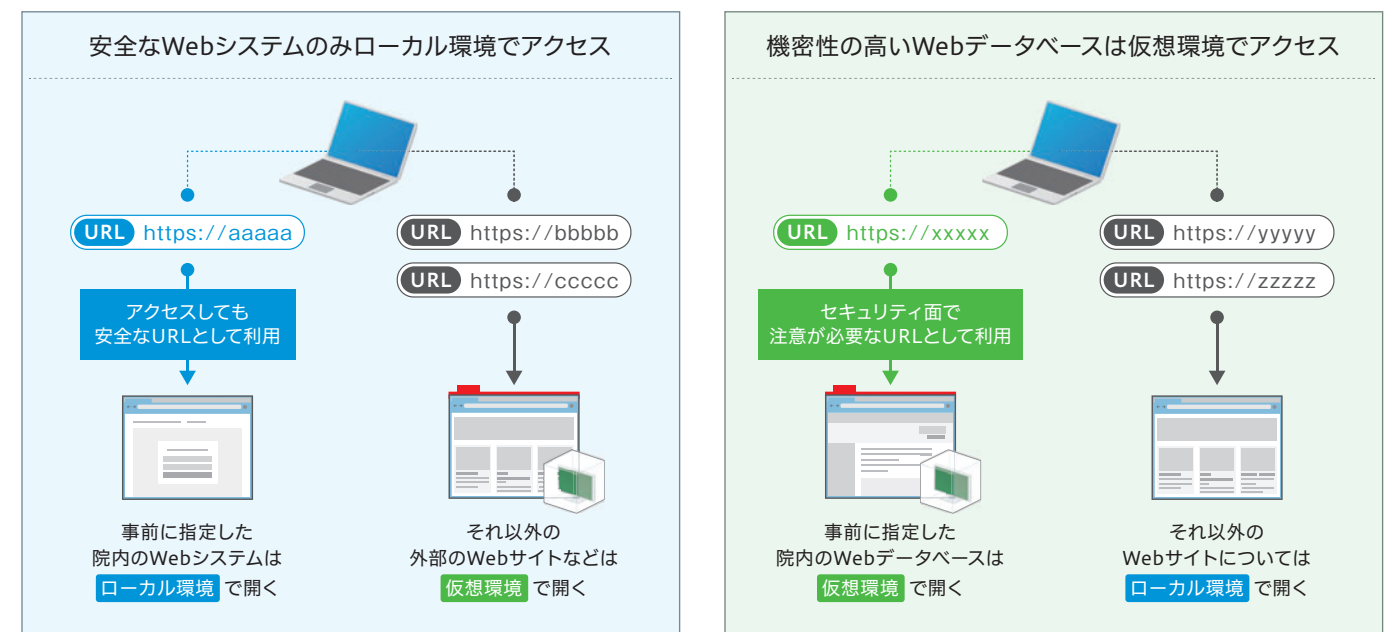
設定状況を視覚的に確認しながら操作が可能



※1 異常を検知するための各項目のしきい値を別途指定することができます。※2 利用可能な設定項目については、P.16をご覧ください。

ローカル / 仮想ブラウザを使い分けて、セキュアなWebアクセスを支援

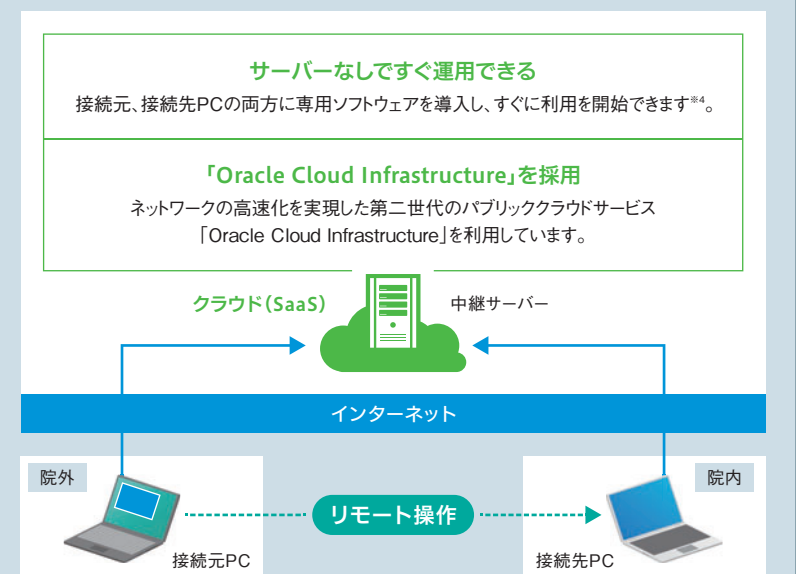
メールなどに記載されたURLをクリックして開く際に、事前に指定したURLは自動的に仮想環境(またはローカル環境)で開くように設定できます。情報漏洩リスクを伴う外部のWebサイトなどは仮想環境でアクセスし、院内の安全なWebシステムのみローカル環境で開くといったWebブラウザの使い分けをユーザーが意識することなく行えます。



SKYDIV Desktop Client Remote Access Services

手軽に・安全に院内のPCを リモート操作※3

外出先などで、手元のPCから院内のPCをリモート操作できるサービスを新たに搭載。パブリッククラウドを経由する「SaaS版」に加えて、院内に設置したサーバーを介して利用できる「オンプレミス版」をご用意し、お客様の運用に合った方式をお選びいただけます。



※3 本機能は、オプションでのご提供のほか、単体で購入してご利用いただくことも可能です。対応OSなど動作環境については、Webサイト(https://www.skydiv.jp/operation/v5_2.html)をご覧ください。※4 利用者側のPCへの専用ソフトウェアのインストールが不要な「Webブラウザ版」もご用意しています。

機能一覧

システム管理	
システム構成	● RDライセンス設定 ● 仮想端末スケジュール設定 ● 仮想端末ネットワーク設定 ● 仮想端末バックアップ設定 ● データベース切替 ● 拡張通信接続制御サーバー設定 ● 環境設定
パフォーマンス確認	● CSVファイル(エクスポート) ● パフォーマンス監視設定
ログ閲覧	● システム稼働ログ閲覧 ● イベントログ閲覧 ● CSVファイル(エクスポート) ● アラート設定(イベントログ)
サーバーメンテナンス	● 通常モードに切替 ● リモート接続新規受付モードに切替 ● メンテナンスモードに切替 ● 利用状況確認 ● スケジュール設定
SQL Server冗長化管理	● 冗長化(クラスター)構成の作成 ● 補助サーバー変更 ● 今すぐ切替(スイッチオーバー) ● 自動切替設定(フェールオーバー) ● 同期設定(レプリケーション) ● 冗長化(クラスター)構成の解除
クラスター構成 仮想端末管理	● クラスターに登録 ● 別のホストに移動(ライブマイグレーション) ● 別のホストに移動(クイックマイグレーション) ● クラスターから削除 ● クラスター設定 ● 仮想端末制御ホスト設定 ● 機能概要表示
システム管理設定	● 管理者設定 ● アラート制限自動解除設定 ● 通知設定 ● ログ設定 ● 仮想端末設定 ● SKYDIVアップデート設定
Microsoft Azure管理	● サブスクリプション管理 ● リソースグループ管理 ● イメージ管理 ● ベースイメージ(AVD用)管理 ● ストレージアカウント確認 ● 仮想端末サイズ / 台数確認 ● アラート設定 ● 機能概要表示

カタログ管理		
カタログ作成	● 仮想端末 (VDI) カタログ (共有端末 / 専用端末)	◆ 仮想端末操作(追加) ◆ 仮想端末操作(再作成 / 更新) ◆ 仮想端末操作(設定変更)
	● 仮想端末 (Azure VDI) カタログ (共有端末 / 専用端末)	◆ 仮想端末操作(追加) ◆ 仮想端末操作(再作成 / 更新) ◆ 仮想端末操作(設定変更)
	● リモート接続サーバー (RDS) カタログ (デスクトップ公開 / アプリケーション公開)	◆ リモート接続操作(接続上限数変更) ◆ リモート接続操作(公開デスクトップ / アプリケーション変更)
	● リモート接続サーバー (AVD) カタログ (デスクトップ公開 / アプリケーション公開)	◆ 仮想端末操作(追加) ◆ 仮想端末操作(再作成 / 更新) ◆ 仮想端末操作(設定変更) ◆ リモート接続操作(接続上限数変更・公開デスクトップ / アプリケーション変更)
	● リモート接続サーバー (Linux) カタログ (アプリケーション公開)	◆ リモート接続操作(接続上限数変更・公開アプリケーション変更 / 更新) ◆ リモート接続操作(SKYDIV更新)
カタログ編集		
カタログ削除		
マスターイメージ管理	● リモート接続して手動でマスターイメージを更新する ● 機能更新プログラムを適用してマスターイメージを更新する	

運用管理	
利用割当ユニット管理	
ユーザー管理	● 所属ユーザー / OU管理 ● 組織外端末用インストーラー管理 ● 組織外端末用ランチャー管理 ● タブレット端末利用管理 ● Webランチャー利用管理 ● 対応OS表示
運用管理設定	● ランチャー設定 ● インストール用通知設定 ● 表示設定

利用設定		
セキュリティ設定	● 部署別設定 ● カタログ別設定 ● 利用割当ユニット別設定 ● 組織外利用設定	
	● 設定項目(詳細設定 - ユーザー認証)	◆ ランチャー利用時にシングルサインオンする ◆ ランチャーログイン時に前回ログインしたユーザーを初期選択する ◆ ランチャーログイン時にActive Directoryユーザーのパスワードの変更を許可する ◆ ランチャー起動後にマウス・キーボード操作が一定時間なかった場合、自動的にログアウトする ◆ Webランチャー上でマウス・キーボード操作が一定時間なかった場合、自動的にログアウトする ◆ タブレット端末の仮想端末 / アプリ起動時にSKYDIV Desktop Clientのユーザー認証を要求する
	● 設定項目(詳細設定 - ドライブ / デバイス)	◆ ディスクドライブの利用を禁止する ◆ 「仮想端末 / アプリ」から「ディスクドライブ」へのデータのコピー / 移動を禁止する ◆ RemoteFX USBデバイスの利用を許可する ◆ 特定のデバイス種別をRemoteFX USBリダイレクトの対象から除外する ◆ USB (RemoteFX) で接続されたディスクドライブの利用を禁止する ◆ SKYSEA Client Viewによってシンククライアント端末(利用者PC)上で禁止されたRemoteFX USBデバイスをリモート接続先で利用する ◆ 「仮想端末 / アプリ」から「USB (RemoteFX) で接続されたディスクドライブ」へのデータのコピー / 移動を禁止する ◆ USB (RemoteFX) で接続されたディスクドライブ以外の利用を禁止する ◆ RemoteFX USBデバイスを自動リダイレクトする ◆ スマートカードデバイスの利用を禁止する ◆ COMポート(シリアルポート)の利用を禁止する ◆ LPTポート(パラレルポート)の利用を禁止する
	● 設定項目(詳細設定 - プリンター)	◆ シンククライアント端末(利用者PC)のプリンターの利用を禁止する ◆ 通常使うプリンターの設定をシンククライアント端末(利用者PC)から引き継がない ◆ プリンター利用時にリモート デスクトップEasy Printを優先して実行する ◆ シンククライアント端末(利用者PC)の「通常使うプリンター」のみ利用する
	● 設定項目(詳細設定 - オーディオ / ビデオ)	◆ オーディオ / ビデオの音声をシンククライアント端末(利用者PC)で再生する ◆ オーディオ / ビデオ再生時の音質を制限する ◆ オーディオ録音デバイスの利用を許可する ◆ ビデオキャプチャーデバイスの利用を禁止する
	● 設定項目(詳細設定 - ブラウザ)	◆ シンククライアント端末(利用者PC)でのWeb閲覧時に公開アプリケーションのブラウザを自動起動する

利用設定		
セキュリティ設定	● 設定項目(詳細設定 - スマートカード認証 RD ゲートウェイ経由接続時の認証)	◆ スマートカードを利用する ◆ 「拡張キー使用法(EKU)」が含まれない証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する ◆ 楕円曲線暗号(ECC)証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する
	● 設定項目(詳細設定 - スマートカード認証 仮想端末 / アプリ利用時の認証)	◆ スマートカードを利用する ◆ スマートカードが取り外された場合の動作を指定する ◆ 「拡張キー使用法(EKU)」が含まれない証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する ◆ 楕円曲線暗号(ECC)証明書が書き込まれたスマートカードの利用を許可する
	● 設定項目(詳細設定 - その他)	◆ デスクトップ / アプリ利用時の認証でネットワークレベル認証を有効にする ◆ 「仮想端末 / アプリ」からのクリップボードの共有を禁止する ◆ 「シンクライアント端末(利用者PC)」からのクリップボードの共有を禁止する ◆ 仮想端末 / アプリで表示する時刻をシンクライアント端末(利用者PC)のタイムゾーンに合わせる ◆ RD ゲートウェイ経由接続時の認証方法を指定する ◆ 仮想端末 / アプリ画面上にウォーターマーク(透かし)を表示する ◆ コンテナにルート証明書 / 中間証明書を配布する ◆ リモート接続開始時に共有フォルダを自動的にマウントする(利用可能な状態にする)
	● 設定項目(リダイレクト設定)	◆ 利用者PC上で認識しているディスクドライブ ◆ USB(RemoteFX)で接続されたディスクドライブ ◆ SKYSEA Client Viewによって利用者PC上で禁止されたRemoteFX USBデバイス ◆ USB(RemoteFX)で接続されたディスクドライブ以外(Webカメラなど) ◆ 「仮想端末 / アプリ」からのクリップボードの共有 ◆ 「シンクライアント端末(利用者PC)」からのクリップボードの共有 ◆ プリンター ◆ オーディオデバイス ◆ ビデオキャプチャーデバイス ◆ スマートカードデバイス ◆ COMポート(シリアルポート) ◆ LPTポート(パラレルポート)
リモート接続設定	● 部署別設定 ● カタログ別設定 ● 利用割当ユニット別設定	
	● 設定項目(接続)	◆ 同一ユーザーによる複数の仮想端末 / アプリへの同時リモート接続を許可する ◆ アプリケーション起動時の接続中画面に、詳細の表示画面(接続先のログオン画面)を表示する ◆ 仮想端末からの公開アプリケーション利用時に、リモート接続サーバー上で移動ユーザープロファイルが有効でもローカルプロファイルを利用する
	● 設定項目(切断 / ログオフ)	◆ マウス・キーボード操作が一定時間なかった場合、自動的に切断する ◆ 接続してから一定時間経過すると自動的に切断する ◆ 自動的に切断された場合、同時にログオフする ◆ 仮想端末 / アプリを切断後、一定時間経過すると自動的にログオフする ◆ アプリケーションを終了後、一定時間経過すると自動的にログオフする
	● 設定項目(パフォーマンス)	◆ 表示可能なモニター数を制限する ◆ 表示可能なモニターの解像度を制限する ◆ 色の解像度(深度)を制限する ◆ デスクトップの背景を表示しない

利用設定		
リモート接続設定	● 設定項目(パフォーマンス)	◆ フォントスムージングを禁止する ◆ デスクトップ コンポジション(Windows Aero)を許可する ◆ 画面上の視覚効果(アニメーションなど)を減らす ◆ ドラッグ中にウィンドウの内容を表示しない
	● 設定項目(その他)	◆ スタートメニューに[Windows セキュリティ]項目を表示しない ◆ ルート証明書の自動更新によって、リモート接続の開始処理に時間がかかる問題を解消する ◆ 仮想端末 / アプリ上でキーボードレイアウトを日本語(JIS)キーボードとして扱う ◆ スタートメニューが表示できない問題を解消する ◆ Internet Explorerのインターネット一時ファイルを削除する ◆ ショートカットを仮想端末上で利用できるよう別キーに割り当てる ◆ ユーザープロファイルを保存する ◆ リモート接続中の画面の解像度を調整して画面を拡大表示する ◆ 公開アプリケーション(ブラウザ)で閲覧しているWebサイトのタイトルをリモート接続ウィンドウに反映する

その他		
ユーザー問い合わせ対応		
管理コンソール設定		
ツール	● 配付用インストーラー作成 ● 通信セキュリティ設定 ● 通信設定 ● バックアップ / リストア ● イベントログアーカイブ ● ランチャー専用端末設定 ● Active Directoryユーザー情報出力 / ユーザー情報取り込み	
ランチャー	● SKYDIV Desktop Clientランチャー ● 組織外端末専用ランチャー ● SKYDIV Desktop Client Webランチャー ● タブレット端末利用(SKYDIV Web Portal)	
SKYSEA Client View 連携	● SKYSEA Client View自動インストール ● SKYSEA Client View部署・端末利用者情報反映 ● RemoteFX USBデバイスリダイレクト	
ファイル無害化連携(オプション)	● セキュリティ設定	◆ 「仮想端末 / アプリ」上から「シンクライアント端末(利用者PC)」上にファイルを転送する際にファイルを無害化する
	● ツール	◆ ファイル無害化設定
SKYDIV Desktop Client Remote Access Services(オプション)	● 専用サイト	◆ PC管理 ◆ ユーザー管理 ◆ 設定 ◆ 接続状況 ◆ インストーラーのダウンロード

動作確認製品一覧

2023年1月10日現在の情報です。最新情報および製品型番などの詳しい情報については、Webサイト (<https://www.skydiv.jp/operation/compatibility.html>) をご覧ください。

さまざまなOSで仮想環境が利用可能

Windows搭載PC以外でも、MacやLinux、iPad、Chromebook、Android端末など、さまざまな環境でご利用いただけます^{※1}。

macOS ^{※2}	
メーカー	製品名
Apple Japan合同会社	- iMac - iMac Pro - Mac mini - Mac Pro - MacBook Air - MacBook Pro

iPadOS ^{※2}	
メーカー	製品名
Apple Japan合同会社	- iPad mini 4 - iPad Pro(第2世代) - iPad Pro - iPad Air 2 - iPad(第7世代) - iPad(第6世代)

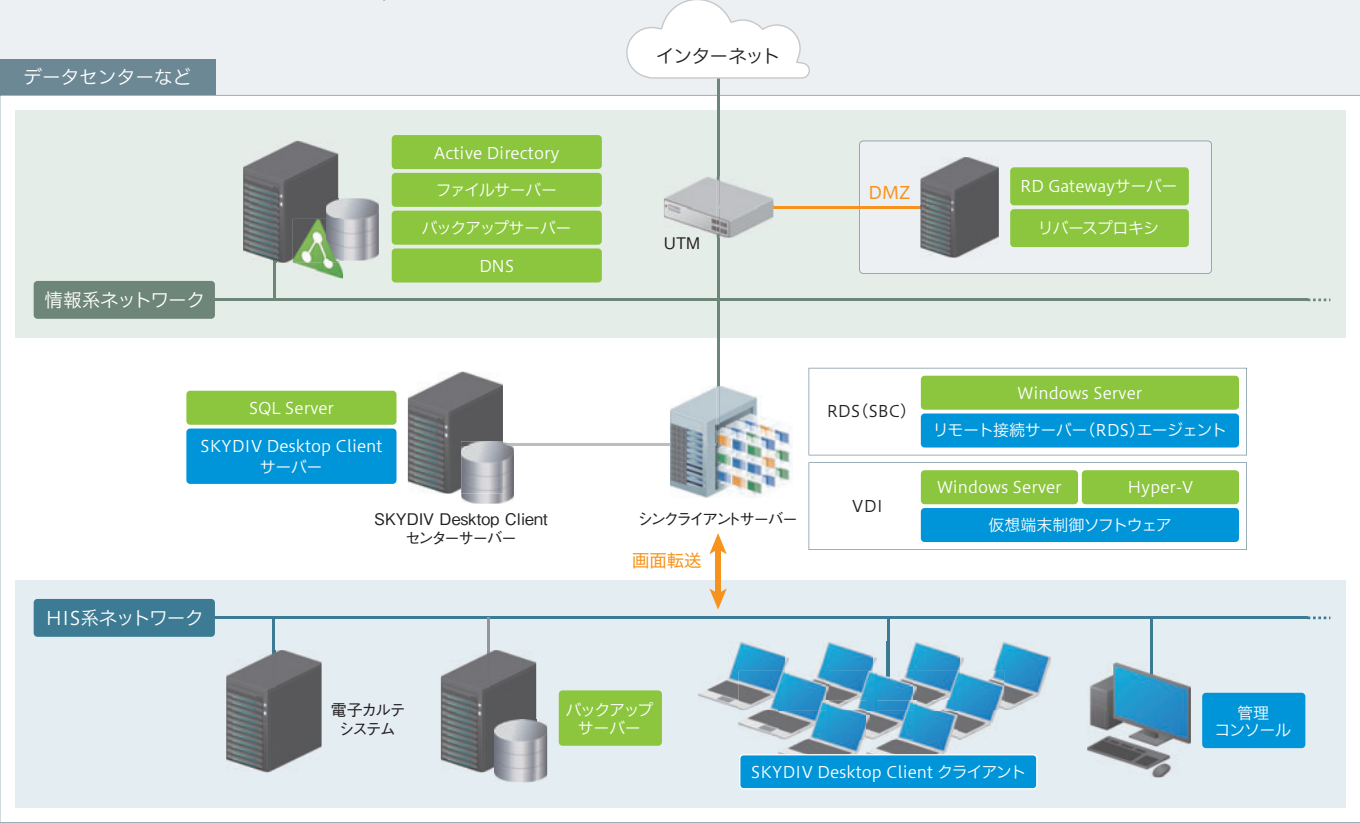
iOS ^{※2}	
メーカー	製品名
Apple Japan合同会社	- iPad(第6世代) - iPad Pro - iPad Air 2 - iPad Air - iPad mini 4 - iPad mini 3 - iPhoneXS Max - iPhone 14 - iPhone 13 mini - iPhone 12 mini - iPhone 12 Pro Max - iPhone 11 Pro - iPhone 12 - iPhone SE - iPhone 11 - iPhone XS - iPhone XR - iPhone 7 - iPhone 6 - iPhone 5S

Chrome OS ^{※2※3}	
メーカー	製品名
ASUS JAPAN株式会社	- Chromebook Flip C302C - Chromebook Flip C213NA
デル・テクノロジーズ株式会社	Dell Chromebook 11
日本エイサー株式会社	- Chromebook 11 - Chromebook Spin 11
レノボ・ジャパン合同会社	Lenovo 300e Chromebook 2nd Gen

※1 各OSの対応バージョンについては、Webサイト (<https://www.skydiv.jp/operation/compatibility.html>) をご覧ください。※2 Microsoft Remote Desktopアプリのインストールが必要です。※3 Google Play非対応版の端末は、サポート対象外です。※4 「ランチャー専用端末設定ツール」を使用することで、デスクトップやWindowsの機能を表示せずにSKYDIV Desktop Clientだけが使える専用の端末に設定できます。

システム構成例

■ マイクロソフト社の機能 ■ SKYDIV Desktop Client の機能



必要なライセンスについて

2022年10月24日現在の情報です。最新情報はWebサイト (<https://www.skydiv.jp/system/>) をご覧ください。

SKYDIV Desktop Clientをご利用いただくには、次のライセンスを必要な台数・ユーザー数分ご準備ください。

分類		ライセンス種別	ライセンス	補足
サーバー		Windows Server 2022	コア数ライセンス	物理サーバー台数分が必要です。
		Windows Server CAL	ユーザーCAL	
			デバイスCAL	在宅・リモートのときは、デバイス数が不明のためユーザーCALをご利用ください。
		SQL Server	コア数ライセンス	システム規模によっては、SQL Server Express Editionの利用も可能です。
VDI方式	ライセンス購入	Microsoft VDA	ユーザーライセンス	
			デバイスライセンス	
	それ以外の方法	SA特典を利用	クライアントOSライセンスのボリュームライセンスにある「ソフトウェアアシュアランス(SA)」を結ぶ方法。MicrosoftクライアントOSのSAの特典として、Windows VDAの権利が与えられます。Windows VDAの権利によってSAを取得したデバイスまたはユーザーは、リモートまたはローカルで実行する仮想WindowsデスクトップOSにアクセスできます。	
		Microsoft 365を購入	Microsoft 365 E3/E5を利用している場合は、プラン内にWindows VDAの利用権が含まれます。	
SBC方式		RDS CAL ^{※1} Windows Server Remote Desktop Services CAL	ユーザーライセンス	
			デバイスライセンス	
Microsoft Office ^{※1}		オンプレミス版 Office	シンククライアント利用時に有効なライセンスを割り当てるようにしてください。FAT端末にライセンスが割り当てられている場合、利用者であるユーザーにライセンスを割り当てられている場合など、ライセンス種別や環境により必要なライセンスは異なります。詳細は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。	
		Microsoft 365 (旧Office 365)	Microsoft 365では1ユーザーあたり最大5デバイスまで利用できるため、シンククライアント環境でも利用できます。 ※Microsoft 365にはデスクトップアプリの提供がないプランや利用できるデバイス数が少ないプランもありますのでご注意ください。	

※1 同時接続ライセンスの提供はありません。

SKYDIV Desktop Clientの設計・構築にあたっては、Windows Server Hybrid Administrator Associateをお持ちか、同等の資格をお持ちの方が作業を行われることを推奨しております。

動作環境および制限事項については、Webサイトをご確認ください。
● 動作環境 (https://www.skydiv.jp/operation/v5_2.html) ● 制限事項 (https://www.skydiv.jp/limit/v5_2.html)

サポートサービス

安全な環境で、常に安心して
お使いいただくために最新版をご提供

メジャーバージョンアップもご提供

常に高いセキュリティレベルを維持していただくために、機能改善を主としたマイナーバージョンアップだけではなく、新機能を搭載するメジャーバージョンアップもご提供しています。アップデートモジュールは「保守契約ユーザー用Webサイト」より、ダウンロードいただけます。また、バージョンアップによる機能強化ポイントや、アップデート手順書をご紹介します。

最新情報と共に、
運用を支えるさまざまなツールを公開

保守契約ユーザー用 Webサイト

SKYDIV Desktop Clientの最新版アップデーターのほか、運用にお役立ていただける情報や各種ツールをご提供しています。



技術資料 / マニュアルを
日本語でご提供

サポートサービスはすべて日本国内で提供しており、お客様の使いやすさを考慮して、技術資料やマニュアルも日本語で作成しています。



専門のスタッフが、お客様の日々の運用をサポート

ヘルプデスクサービス

お困りのときは電話・メール・FAXなどお気軽にお問い合わせいただければ、専門スキルを持ったサポートスタッフがトラブルの内容、お客様の環境などを確認し、全力で対応いたします。



5つのお約束

- 1 お問い合わせには
翌営業日までに回答いたします。
- 2 いつでも品質の高い
サポートを提供いたします。
- 3 どこまでもサポート品質の向上を
追求いたします。
- 4 サービスの改善も
リスク管理を行った上で実施いたします。
- 5 問題点は徹底して
再発防止に取り組みます。

全国に拠点を配置。
専門のスタッフが全力で対応いたします。



ご利用環境に即した内容で研修会を実施

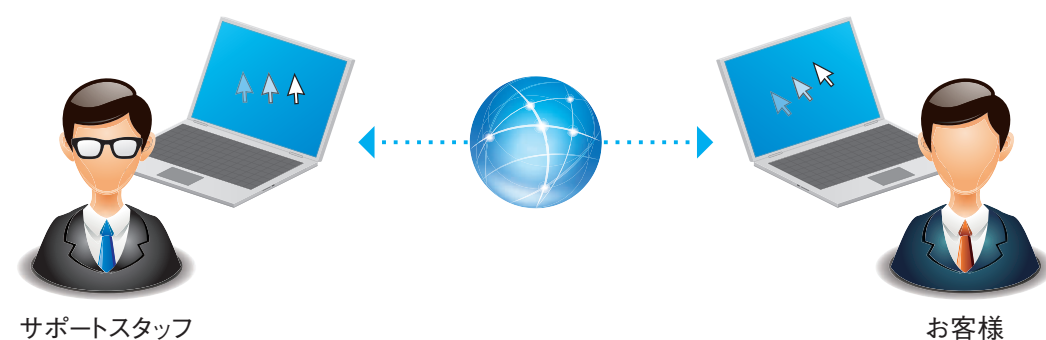
研修会の実施

専門のスタッフがお客様先へ伺い、各機能の操作説明などを実施します。お客様のご要望や所要時間に合わせて内容を検討いたします(研修会は有償となります)。

リモート操作で、より早く的確にトラブルを解決

リモートサポートサービス

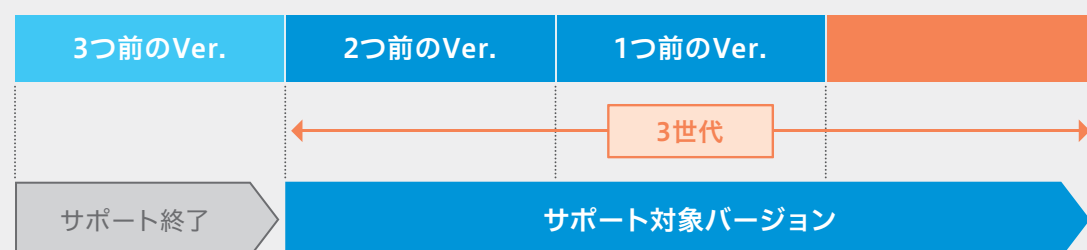
お問い合わせ内容やトラブルの状況に合わせて、弊社スタッフが、インターネットを通じてお客様のPCをリモートコントロール。操作のご案内やトラブル解決に対応いたします。簡単な操作で安全に接続できるので、電話だけのサポートに比べてお客様のご負担を減らすことができ、早期のトラブル解決にお役立ていただけます。



ライフサイクルポリシーについて

サポートの対象は最新のバージョンを含め、3世代までです

サポートの対象となるSKYDIV Desktop Clientのバージョンは、最新のメジャーバージョンを含め、3世代までです。メジャーバージョンアップが行われた時点で、3世代より前となるバージョンはサポート終了となります。



サポートが終了したバージョンのお問い合わせについて

サポートが終了したバージョンの基本的な操作方法についてはサポートいたしますが、不具合・トラブルなどで調査が必要な場合には、まずご利用のSKYDIV Desktop Clientをサポート対象のバージョンにバージョンアップいただきますようお願いいたします。バージョンアップ後に、調査等を継続いたします。

品質向上への取り組み

専用テストングルームを設置

社内に専用のテストングルームを設置し、あらゆる環境を想定した評価 / 検証を行っています。継続的な運用のなかで浮き彫りになる、細かな課題も見逃さずに商品開発にフィードバックを行っており、お客様と同じ「利用者の視点」でソフトウェアの機能向上に取り組んでいます。



情報セキュリティマネジメント国際規格『ISO/IEC 27001』

Sk y株式会社(以下、弊社)は、情報セキュリティ対策の管理の仕組みについて規定した国際規格である「ISO/IEC 27001」を取得しています。



個人情報保護規格『プライバシーマーク』

弊社は、保有する個人情報の取り扱いおよび管理体制について、第三者機関に認証を受け「プライバシーマーク」を取得。お客様の情報はもちろん、あらゆる個人情報を適切に管理・保護しております。高い情報セキュリティレベルを実現するために、商品の品質管理を徹底しています。



品質管理規格『CMMIレベル3』

ICTソリューション事業部開発部開発課では、ソフトウェアの品質管理向上に取り組み、2007年2月～2010年2月の期間、国際的な品質管理規格CMMIレベル3達成の認定を受けました。今後も改善を積み重ね、より高品質で使いやすいソフトウェアを目指した開発を行います。



最新機能やテーマ別活用術、導入事例など、 SKYDIV Desktop Clientに関する動画を多数公開！



ご視聴はこちら



🔍 Sky株式会社 公式チャンネル

SKYDIV Desktop Client は **“企業・団体・教育機関・医療機関”** のお客様向け商品です

商品に関するお問い合わせや最新情報は

Webサイト

SKYDIV

🔍 検索

<https://www.skydiv.jp/>

商品に関するお問い合わせは、Webサイトよりお受けしております。



インフォメーションダイヤル

- 法人名、企業名、学校名、病院名、代表電話番号などをお答えいただけない場合、ご利用できません。
- 法人、教育機関、自治体、医療機関以外の方からの問い合わせには対応いたしかねます。
- サービス・品質の向上とお問い合わせ内容などの確認のために、通話を録音させていただいております。

03-5860-2622 (東京) 06-4807-6382 (大阪)

受付時間 9:30～17:30 (土・日・祝、ならびに弊社の定める休業日を除く平日)

弊社は、Microsoft社の製品やテクノロジーをベースとしたサービスの開発や販売を行うIT関連企業に対するパートナープログラム制度において、「マイクロソフトGoldコンピテンシーパートナー」の認定を受けています。

Gold
Microsoft Partner



Sky株式会社 — <https://www.skygroup.jp/> —

- 東京本社 〒108-0075
東京都港区港南二丁目16番1号 品川イーストワンタワー15F
TEL.03-5796-2752 FAX.03-5796-2977
- 大阪本社 〒532-0003
大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F
TEL.06-4807-6374 FAX.06-4807-6376
- 札幌支社 仙台支社 横浜支社 三島支社 名古屋支社 神戸支社
広島支社 松山支社 福岡支社 沖縄支社

本商品は「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」の規制対象ではない汎用（非医療機器用）コンピューティングプラットフォーム上で動作するソフトウェアであり、医療機器ではありません。

●SKYDIV、SKYDIV Desktop Client、SKYSEA および SKYSEA Client View は、Sky株式会社の登録商標です。●Microsoft、Windows Server、Hyper-V、SQL Server および Microsoft 365 は、Microsoft Corporationの登録商標または商標です。●Linux® は、Linus Torvaldsの登録商標または商標です。●Mac は、Apple Inc.の登録商標または商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。

※本カタログに掲載している画面はすべて開発中のものです。※各機能のご紹介は、Windows端末の管理を基本として掲載しております。